



広報 No.26
2014年10月
秋号



第4回大阪市コミュニティ合唱祭



2014年10月19日(日) 会場：大阪市立旭区民センター

『響け！ 500人の大合唱』

「第4回大阪市コミュニティ合唱祭」が今年も大盛況でした。大阪市コミュニティ協会の皆様、高原様、木村先生、旭区民合唱団リリオの方々、合唱祭にご尽力下さったすべての方に感謝の思いで一杯です。

第1部は、オペラ演奏あり、ミュージカル演奏あり、スタジオジブリ曲集ありのバラエティーに富んだプログラムでした。回を重ねるごとにレベルアップしていく素晴らしい合唱祭に、私達は多くの刺激を受けます。

我が団は「サウンド・オブ・ミュージック」、「エーデルワイス」、「すべての山に登れ」の英語暗唱と笑顔で歌うことには最後まで大変苦勞しました。悩ませてしまった藤田先生、竹村先生、本当にありがとうございました。

しかし、本番の合唱のできと新調したカラフルなTシャツは評判が良かったようです。次回は、先生にもTシャツを着て頂いて、バックプリントのアピールをお願いします。

第2部の合同合唱『友よ 大阪

の夜明けを見よう』では、歌っている私達はもちろん、聴衆の方々にも感動して頂けたようでした。合唱の力はなんとすばらしさなのでしょう！だんじり囃子や法被を着る演出も効果的でした。

懇親会では各団の余興が見応えがあり、参加全11団体が日頃のチームワークを発揮されて弾けている様子に「凄い！」のひとことです。我が団の「河内音頭」は、強化練習のときに少し練習をしたので、今までよりサマになっていたのではないのでしょうか！？多くの飛び入り参加もあり、賑やかなものになりました。きっと法被を貸して頂いた杭全神社のご利益です。

懇親会に参加されなかった方、「見ないとそんそん♪話さなそんそん♪」、次回は是非ご参加を。

さあ、次はクリスマスコンサートです。すばらしいハーモニーを目指しましょう！！





手は頭より高く
手のひらを見て！



楽しかったね！、懇親会♪河内音頭では飛び入り続出、フロアにまで繰り出しました
紙面の都合で他団の余興ステージ写真を載せることができないのが、残念！



『強化練習を願みて』

団長 大森利治

皆さん、今年は、春のジョイコーラスと秋の大阪市コミュニティ合唱祭を終え、いよいよ年末の第九を残すのみとなりました。ジョイコーラスは、歌う場を拡げるといふ事以外に、地域の人達にもっと私達の活動を知ってもらって私達のファンを作り、その中から一人でも多く一緒に歌ってみたいと思ふ人を見つけ出すという意図をもって始めました。意図と言へば、9月の強化練習もある意図をもって企画しました。勿論、もっと上手に歌えることが第一義ですが、それ以外に、日頃の練習では分からないところを自分の目で、自分の耳で発見して頂くことにありました。皆さんには、そこではどんな発見があったのでしょうか。「声が小さい」「歌いだしが揃わない」「リズムが合わない」が私の大きな発見でした。もっとあったかも知れませんが、これらの中で「声が小さい」は、日々の声出しの練習で筋肉を強化しなければ年々小さくなるものです。スポーツ選手は1日練習を休むと、元に戻すには3日の練習が必要と言われていています。週一の練習で声が出るとは思わないで下さい。それでは弱くなるばかりです。2点目は私達には指揮者を見る習慣がついていないという所を教えてくださいましたね。3点目は外国語の発音の仕方でしょう。スポーツも合唱も下手な練習を重ねるだけでは上手にならないという事を考えてみては如何でしょうか。

～編集後記～

コミュニティ合唱祭も無事終わり団員の皆さんもホット一息ついたところでしょう。今年の「クリスマスコンサート」では、ひらの混声合唱団のレベルからすると挑戦的な“レクイエム”を演奏しますが、表現力などより高度な合唱力が問われます。特に“キリエ”は、壮大な2重フーガで各パートとの掛け合いになっている上に、旋律では16部音符が連なるところの音程が難しいです。困難を乗り越えたときの達成感は格別です。1, 2に練習で「クリスマスコンサート」成功に向けてがんばってまいりましょう。

(後藤・萩原)